

(仮称) 埼玉中部資源循環センター整備事業にかかる説明会 議事録

日 時 平成30年6月3日 (日)
場 所 芝沼集落センター
会議時間 午後 6時08分から
午後 7時45分まで

顛末

関町民生活課長	1 開会
志村副町長	2 あいさつ
関町民生活課長	出席者紹介
事務局	3 (仮称) 埼玉中部資源循環センター整備事業について 4 質疑応答
質問者① 事務局	ダイオキシン類の自主基準値0.1の考え方を教えてほしい。 法律上の基準値を採用している。この考え方は健康上の障害が想定される値よりも厳しい、現在の技術で測定できる数値の限界が0.1であることから採用している。
質問者① 日本環境衛生センター	ダイオキシン類の自主基準値が0.01としている他事例があるが。 ダイオキシン類の自主基準値が0.01の事例があるのは事実である。技術上達成すべき最高の基準が0.1となっている。それ以上に低い数値は根拠がない数値である。補足として、自主基準値は炉が停止される上限の数値であり、日常の値は自主基準値よりも大きく下回るように運営していくことになる。
質問者② 事務局	他事例で自主基準値0.01がある以上は、こちらでも0.01にするべきだと思う。 基本計画策定時の地域の状況を考えた上で数値を定めている。今回の意見は、地域の意見として受けて、再度これまでの経過等をまとめて分かるようにしたい。
質問者③	近隣の事例で自主基準値が0.01で設定している。そこに倣うべきである。
質問者① 日本環境衛生センター 事務局	ダイオキシン類の測定に「アメサ」を活用してほしい。また、活用した場合の測定場所は煙突の排出口で行ってほしい。日本環境衛生センターから事務局にアメサの導入を促してほしい。 アメサは公定法ではない。導入事例も少ない。事務局にはアメサの情報はお伝えしていく。 意見として承る。技術的な部分になるので日本環境衛生センターの意見を参考にしていきたい。

<p>質問者①</p>	<p>水防訓練で、建設予定地は市野川がカーブしているところにあり川の氾濫の危険性があると消防団員が話すのを耳にした。そういったところに処理規模が大きい新しいごみ処理施設を建設するのはいかがなものか。</p>
<p>事務局</p>	<p>建設予定地決定の際にお話しはさせていただいたが、埼玉県の洪水想定等を参考した。その際には、今回のような具体的な話は出ていなかった。もし、そういう事であれば住民の皆様の生活に大きな影響があると考えられるが、川島町としてはどうか。</p>
<p>関町民生活課長 事務局</p>	<p>川島町として、そういった話は存じていない。 基本設計の中でも浸水対策等を考えている。今の話をもって建設地の再検討は考えていないが、住民の方からの意見があったことは受け止めてできる限りの対応をしていく。</p>
<p>質問者②</p>	<p>破碎機稼働時の騒音、有害物質の排出が気になる。他施設でこの内容で訴訟になっているが事務局はどう考えているか。</p>
<p>日本環境衛生センター</p>	<p>騒音については、防音対策を行い敷地境界のところで基準値を満たす設計をする。破碎処理された粉塵等は捕集し、脱臭装置やフィルター等を通して外部に出ないような対策をとる。</p>
<p>質問者①</p>	<p>破碎機はテレビや電子レンジだって破碎できる性能がある。受け入れられるものは何でも破碎して燃やす計画である。より厳しいダイオキシン類の自主基準を設けるべき。</p>
<p>質問者④</p>	<p>テレビなどは受け入れられないのでは。</p>
<p>日本環境衛生センター</p>	<p>別の法律により処理が定められているので受け入れない計画である。</p>
<p>質問者⑤</p>	<p>現在の施設（埼玉中部環境保全組合）では芝沼地区は地元の範囲外だったのでほとんど恩恵を受けられなかった。今回は地元地区となった。やはり、地元として恩恵を受けたい。地元要望を聞く期間が短いと感じている。もっと地元意見を聞く時間が欲しい。現在裁判中とのことだが、ちゃんと建設が決まってから地元要望を聞くようにしてほしい。以前は売電益を地区に還元してほしいという話があったが、部落費として芝沼地区に還元してほしいという話も出ている。そうすれば地区全体に恩恵が受けられる。</p>
<p>事務局</p>	<p>意見として承る。地元の理解を得られるように進めたいが9つの市町村で運営する施設でもある。今回の意見は、地元の意見として構成市町村間の会議の場で話し合う事になる。周辺施設の地元要望をとりまとめる期間が短く厳しいのは承知しているが、まずはこのスケジュールで進めさせていただきたい。ただし、期間を過ぎた要望を全く受け付けられないという意味ではなく、状況を見ながら期間の延長も考えられる。金銭的な部分も考えていかなければいけないが、事務局のスタンスとしては地域の方々の意見をできるだけ反映させられればと思っている。</p>
<p>質問者⑥</p>	<p>金銭的という話があったが、地元としては付帯施設よりも安全を優先してほしい。付帯施設費を地域の安全や要望にまわすべきだと思う。</p>
<p>日本環境衛生センター</p>	<p>環境についての質問があったが、現在事務局では、環境影響評価を行っている。今後説明会等を予定している。そのときの内容を参考にしていた</p>

	<p>だければと思う。</p>
質問者①	<p>今回私が事務局にお伝えしたダイオキシン類の測定方法等は広く周知されるのか。</p>
事務局	<p>今回の地元説明会で出た意見等はまとめて副市町村長会議で報告する。地元にも内容を報告したい。</p>
質問者⑦	<p>例えば、ダイオキシン類等の測定結果を掲示板等で公表してはどうか。そうすれば常に周辺環境の状況を誰でも確認できるのではないか。建設費をダイオキシン類対策に多く使い、その分を建物の構造、材質で抑えることで費用を確保できると思う。浸水対策の話があったが、たとえば電気系統を2階に集める等対策が考えられる。石巻の津波など浸水被害を受けた施設の対策や対応を参考にしたら良いのではないか。</p>
事務局	<p>掲示板の設置など具体的な意見をいただいた。地元からの意見として承る。</p>
日本環境衛生センター	<p>要求水準書作成の前提条件として震災対策を取り入れる。震災対策の方法は国等の基準を満たすように条件設定をする。</p>
質問者⑦	<p>防災施設等の位置付けを持たせるのであればより高い耐震基準等が求められることを留意してほしい。</p>
事務局	<p>要求水準書の作成には、設計の専門家を含めて設計、建設、運営が適切に行える事業者か審査できる体制を整える。その中で、今回いただいた具体的な内容についても留意していきたい。</p>
関町民生活課長	<p>5 閉会のあいさつ</p> <p>— 以上 —</p>